

## 1 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

本学は学則第2条の2で「コミュニティ子ども学科は、建学の理念に基づき、地域社会に貢献し得る保育士及び幼稚園教諭を養成する。」という教育目的を掲げ、保育者の養成をしている。

### 1) 教職課程の設置の理念

子どもを取り巻く環境や教育の社会的ニーズ、子育て支援の必要性、地域の教育現場の現状を踏まえ、建学の理念に基づいて教員を養成し、地域の教育に貢献する。

### 2) 教員養成の目標

教員養成機関としての社会的な責任を自覚し、建学の理念に基づき、地域社会に貢献し得る教員を養成する。

目標を達成するため、コミュニティ子ども学科では、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針に基づき教育を行っている。

### 3) 教員養成の目標を達成するための計画

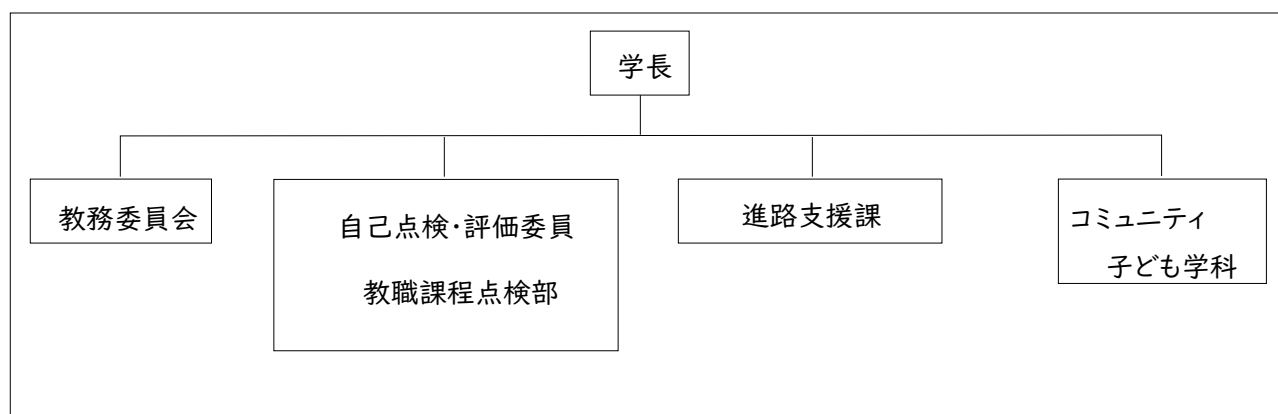
卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針に基づき、計画的に教員養成を行っている。卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針は、本学ホームページ>情報公開>授業関連に掲載している。

URL: <https://www.niitan.jp/about/disclosure/?study=page-2>

## 2 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関する こと

### 1) 教員の養成に係る組織

教員の養成は、下図の部署で協力して行っている。



## 2)教員の数

免許状の種類	担当教員(専任)	専任教員数 ( )は教員免許法施行規則における 必要専任教員数
幼稚園教諭二種免許状	澤田 まゆみ	6 (6)
	鈴木 まゆみ	
	福島 秀起	
	成田 小百合	
	渡邊 哲也	
	櫻井 剛	

### 3)各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目

各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目は、[本学ホームページ](#)>情報公開 >教員関連 >各教員の専門分野・業績に掲載している。

URL: <https://www.niitan.jp/department/community-children/teacher.php>

## 3 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

### 1)教員養成に係る授業科目

教員養成に係る授業科目は、以下の科目を構成している。

・教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等		単位数	対応する本学開講科目	単位数	共通開設
科目	各科目に含めることが必要な事項				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職基礎理論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		(教育原理で対応)		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育と保育	2	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		カリキュラム論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	保育方法論	2	
	幼児理解の理論及び方法		(教育相談で対応)		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習Ⅰ	2	
			教育実習Ⅱ	3	
			教育実習指導	1	
	学校体験活動				
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	
計		17	計	22	

・領域及び保育内容の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		対応する本学開講科目	単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容総論	1	
		保育内容 環境	2	
		保育内容 言葉	2	
		保育内容 表現	2	
		保育内容 健康	2	
		保育内容 人間関係	2	
領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康	1	
	人間関係	子どもと人間関係	1	
	環境			
	言葉	子どもと言葉	1	
	表現	子どもと表現	1	
		計	15	

・大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		対応する本学開講科目	単位数	
科目区分			必修	選択
		キリスト教保育	2	
		計	2	

・教養科目

別表第一備考第四号に規定する文部科学省令で定める科目		対応する本学開講科目	単位数	
教科目	単位数		必修	
情報機器の操作	2	情報リテラシー I	2	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2	
体育	2	健康科学論	1	
		身体運動	1	
計	8	計	8	

2) 授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画

授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画は、本学ホームページ>情報公開>授業関連>授業科目及び年間の授業の計画について>コミュニティ子ども学科のシラバスを掲載している。

URL: <https://www.niitan.jp/about/disclosure/?study=page-2>

4 卒業生の教員免許状の取得の状況に関すること(2025年5月1日現在)

2024年度卒業生の状況は、下表の通りである。

卒業年度	幼稚園教諭二種免許状	保育士資格(参考)
2024年度	39名	42名

## 5 卒業生の教員への就職の状況に関すること(2025年5月1日現在)

2024年度卒業生の状況は、下表の通りである。

卒業年度	卒業生	就職者	就職者の内訳			
			幼稚園教諭	保育教諭	保育士 (参考)	その他 (参考)
2024年度	45名	42名	9名	12名	18名	3名

※保育教諭は、幼稚園教諭・保育士の免許・資格を取得し、幼保連携型認定こども園に就職した者。

## 6 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

教員の養成に係る教育は、授業の改善だけではなく、特色のある取り組みやFD・SD活動、自己点検により質の向上に努めている。

1)特色ある取り組みは、以下の通りである。

・こどもフェス

学生が主体となりこどもフェスを企画・運営している。

・特別講演会

保育・福祉・教育の講師を招き、特別講演を年1回開催している。講演を通して、保育者としての専門性を高めることを目的にしている。

・卒業研究発表会

2年間の学びの集大成として、卒業研究を発表する。1年生は2年生の発表を聴き、保育に対する理解を深める。

・チャイルド広場

地域の子どもと保護者向けの子育て支援事業である。コミュニティ子ども学科の地域貢献の事業であり、学生がチャイルド広場の運営に携わりながら子育て支援についての理解を深める。

2)FD・SD活動

大学全体でFD・SD活動を実施し、学修成果の向上に努めている。

3)自己点検

・授業評価アンケート

学期末に授業評価アンケートを実施している。また、学生による授業評価アンケートの集計結果を踏まえて自己分析と改善策等を作成・提出することで授業改善をしている。

・授業公開週間

学期末の授業公開週間は原則全ての授業を本学教員に公開している。専任の教員は1科目参観している。教員が相互に授業参観を行い、他の授業の良い部分を吸収し、教育の質の向上を行っている。